



熊谷市立三尻小学校

校長 長谷川 雅夫

一 本校の沿革

明治六年五月三十日、三ヶ尻にある幸安寺で三箇尻小学校として開校。今年で百五十二年目。明治四十二年に現在地に移転。これまで、甕（みか）尻小学校、三ヶ尻尋常小学校、三尻尋常小学校、三尻尋常高等小学校、三尻国民学校、三尻小学校と名称を変えてきた。明治十三年に大麻生、昭和四十七年に籠原小が分離。現在、通常級十二、特別支援学級が三、児童数は三百六十名。

二 校章・校歌制定等に係るエピソード

1 校章

① 制定年 昭和三十八年

② デザインの意図 学校名をデザイン化

2 校歌

① 制定年 昭和四十年（開校九十年を記念）

② 特徴など

作曲を埼玉大学教育学部教授（音楽）の折山俊也氏、作詞を埼玉県教育長の綱島憲次氏に依頼。歌詞には、子供たちへのメッセージとともに三尻小学校周辺の情景や生活の様子が入っている。二番には、観音山や工場（旧秩父セメント）、三番には、三尻地区が楢引台地（荒川扇状地）上にあるので地下水が深く水が貴重であり、扇端付近からは湧水が見られたことが「ふるさとの生命の泉 共にくむ」と歌われている。

3 マスコットキャラクター「みしリス」

コロナ禍の中で、子供たちを元気づけてくれるキャラクターを創ろうとアイデアを募集。八十二点の中から選ばれた児童の作品をもとに令和二年九月に誕生。



熊谷市立 三尻小学校 校歌

網島 憲次 作詞
折山 俊也 作曲

♩=100
mp

う ら ら かな ひ かり ながれる
ひろいのに すつ きり たつ た がつ こう
だんだん強く
は ぼ くら の か よ う み し り し ょ
う きょう も た の し く ま な ぼう よ

一、うらかな 光ながれる
広い野に すつきりたった
学校は 僕らのかよう
三尻小 今日もたのしく
学ぼうよ

二、ほがらかな 歌のながれる
校舎から 観音山や
工場が うかんで見える
三尻小 明日もたのしく
はげもうよ

三、きよらかな 心ながれる
ふるさとの 生命の泉
共にくむ わたしの学校
三尻小 何時もたのしく
みがこうよ

作詞	網島 憲次
作曲	折山 俊也



【今でも出ている湧水】



【太平洋セメント】



【三ヶ尻観音山】